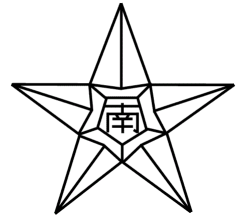


# 南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03 (3403) 5773 FAX03 (3408) 4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

## 開校記念日に寄せて

校長 小林 功明

### 南山小学校創立の頃

10月21日は、南山小学校の147回目の開校記念日でした。年に1度の開校記念日をきっかけに、南山小学校に関わる喜びを感じさせたいと思い、全校朝会で話をしました。子供たちには、簡潔に話しましたが、学校だよりには、過去の記念誌を基に少し詳しく記します。

南山小学校は、1876年明治9年12月19日麻布宮村町7番地に創立されました。1876年は、廃刀令の発布された年です。最初の学校名は、「第2大区第2中学区第27番公立南山小学校」。木造2階建68坪10教室、児童数150名、教員4名でスタートしました。その後、幾度か名称や所在地が変わっています。(別表参照)

### 南山小学校の名前の由来

この創立の頃、麻布区にあった学校は、「麻布小」「飯倉小」「南山小」の3校です。麻布、飯倉は地名から命名されていますが、南山だけは、地名ではありません。過去に調べた方がおり、いくつかの説がありますが、本当のところはわからないようです。①「南山の寿説」中国の名山で多くの詩に詠まれている「南山」。実際の山としては、日本の富士山と同じイメージである「終南山」「廬山」ですが、実際の山から離れて、長寿の象徴としてのイメージを負った言葉となっています。②「内田山の南説」昭和2年にできた校舎があったところが内田山と呼ばれていたところ。その南に建てられたからだという説もあります。③「芝にあった南海小学校との兄弟説」現在の田町駅の近くに明治7年にできた「南海小学校」。その近くに東海道がありますが、その頃の東海道は、海岸線に近く波が打ち寄せていたそうです。そのあたりは、皇居から見て南にあたる地域だったため、「南海」と命名されたそうです。その2年後に麻布にできた南山小学校は、南海小学校より山手にあたるので、「南山」と名付けたのではないかという説です。

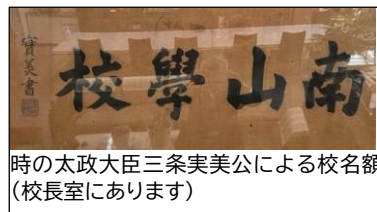
調べてみると沢山の発見がある南山小学校は、本当に歴史と伝統のある学校です。そのような素晴らしい学校に通っていることを誇りに思っています。そして、いつまでも「南山愛」をもってほしいと思っています。

### 所在地・校舎の変遷

明治9年 暗闇坂校舎	麻布宮村町7番地(暗闇坂) 和洋風2階建 敷地497坪
明治27年 藤棚校舎 麻布の学習院	宮村町69番地(六本木高校の位置) 木造2階建 (暗闇坂校舎の2倍の敷地)
昭和2年 内田山校舎 高台の重厚な城	宮村町67番地(現在の場所) 鉄筋コンクリート3階建 (藤棚校舎の2倍の敷地)
昭和53年 現校舎	元麻布3-8-15(現在の場所) 2年間の仮設校舎を経て、現在の校舎 校庭は、今も大事にしています。

### 校名の変遷

明治9年	第二大区第二中学区第27番公立南山小学
明治12年	麻布区公立南山小学
明治19年	麻布区南山尋常高等小学校
明治25年	東京市立南山尋常高等小学校
明治41年	東京市南山尋常小学校
昭和16年	東京市南山国民学校
昭和18年	東京都南山国民学校
昭和22年	東京都港区立南山小学校



時の太政大臣三条実美公による校名額  
(校長室にあります)



開校当時の南山小学校  
三条実美公揮毫の校名額が掲げられています。

10月28日に運動会が終わりました。次の大きな行事は、12月9日(土)の学芸会です。演じる子供たちには、なりきる楽しさ、変身する楽しさなど表現の楽しさを実感させたいと思っています。詳細は、後日ご案内申し上げます。

## たてわり班活動・異学年交流

特別活動部主任

特別活動（特活）の時間は、「自分からすすんで動くこと」「他の人と協力すること」「最後までやりきること」「自分らしく行動すること」「優しくすること」の価値に気付いて自分の生活に取り組んでいく方法を学ぶ時間です。その全てが凝縮されたのが、南山小学校の伝統でもある【たてわり班活動・異学年交流】です。1年生から6年生までが14班に分かれて、1年間を通して様々な活動に取り組みます。7月のなかよし集会の校内オリエンテーリングでは高学年がリーダーシップを取り、絆を深めました。児童集会では集会委員会が考えたゲームを班で協力して楽しみ、音楽集会では心を一つに歌声を響かせます。

体力テストでは高学年が低学年を手伝い、国語科や生活科、総合的な学習の時間など様々な授業でも他学年と発表会や交流をして学びを深めています。

高学年がしっかりと低学年のお手本となり、中学年がそれを支える南山小学校のよい伝統を引き継ぐ中で、一人一人が大きく成長しています。



## 国際理解・多様性等についての取り組み

国際科担当

国際理解とは、互いの文化や考えを知ることによって違いを理解し、相手と尊重し合うことで、「相互理解」を深め、共によりよく生きることです。そのために3つの視点を基に、教育活動を行っています。①主体的に行動する力や寛容な精神を養い、広い視野をもつこと ②国際理解のために日本の文化を理解すること ③相手の考えを聞き、自分の意思を表現するための外国語能力を身に付けることです。南山小学校では、様々な国籍の児童が自然と多様な言語やジェスチャー、タブレットの翻訳機能を用いてコミュニケーションを図っています。そこに言葉の壁はなく、豊かに関わり合う子供たちの多様性に満ちた姿があります。

代表委員会が行っている「世界友達プロジェクト」では、様々な国籍をもつ児童が自分の国の文化やおすすめの料理などを給食の放送の時間に紹介をしています。11月には「JRC登録式」や「ユニセフ募金」で、青少年赤十字の活動を学び、自分たちにできる奉仕活動について考えます。みなエコ委員会では「フードロスウィーク」を実施し、世界の食料問題について目を向けるきっかけとしています。食育として給食には国際的な行事に合わせて多国籍料理が提供され、放送委員会による各国紹介のお昼の放送も盛んです。全校の取組としては、1年生の「和作法」、4年生の「江戸小紋」や「車椅子・白杖体験」、5年生では「SDGs」を探究し、南山の森にめだか池を誕生させる取組を行っています。6年生では国際科で、夢や思い出についてプレゼンテーションを行います。図書館にある様々な英語の本も日頃から多くの児童が活用しています。多角的な学びを通して、国際社会の平和と発展に貢献し、活躍できる児童を育てています。



### 11月行事予定

1日(水)	委員会活動	18日(土)	道徳地区公開講座 PTA イベント
6日(月)	水曜時程5時間授業	20日(月)	ユニセフ募金〔24日(金)まで〕
9日(木)	4時間授業	21日(火)	4年生社会科見学
13日(月)	避難訓練	27日(月)	委員会活動(12月分)
14日(火)	JRC登録式	29日(水)	クラブ活動
17日(金)	水曜時程5時間授業 算数検定(希望者)		

### 11月生活目標

正しいことばづかいをしよう <ふれあい月間>